

作成日：2020年2月26日

更新日：2022年5月19日

Ver. 2.1

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称： ガードピレス微粒剤

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名： 株式会社アグリマート

住所： 〒104-0031 東京都中央区京橋 3-12-2 京橋第2有楽ビル

TEL. 03-5159-1711, FAX. 03-5159-1712

e-mail: agm-info@agrimart.co.jp

推奨用途及び使用上の制限： 不快害虫用殺虫剤

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

物理化学的危険性

健康有害性

環境に対する有害性

GHS分類基準に該当しない

急性毒性(吸入:粉じん、ミスト):区分2

発がん性:区分1A

特定標的臓器毒性(単回暴露):区分1(呼吸器系)

特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分1(肺)

水生環境有害性(短期):区分1

水生環境有害性(長期):区分1

上記で記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」。

### GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語  
危険有害性情報

危険  
吸入すると生命に危険  
発がんのおそれ  
呼吸器系の障害  
長期にわたる又は反復ばく露による肺の障害  
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

### 【安全対策】

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 粉じんを吸入しないこと。
- 取扱い後は手をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 呼吸用保護具を着用すること

### 【応急措置】

- ばく露又はばく露の懸念がある場合：直ちに医師に連絡すること。

- 気分が悪いとき：医師の診察/手当を受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。こと
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
- 漏出物を回収すること。

#### 【保管】

- 施錠して保管すること。

#### 【廃棄】

- 内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。または都道府県知事等の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

他の危険有害性：特に無し。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分：混合物

成分及び含有量：

成分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
$\alpha$ -シアノ-4-フルオロ-3-フェノキシベンジル=3-(2,2-ジクロロビニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート(別名:シフルトリン)	< 0.5%	68359-37-5	4-(7)-1541	3-4123
グリコールエーテル系溶剤	< 10%	9004-74-4		
シリカ(非晶質、結晶質)	70-75%	14808-60-7		
その他	残			

### 4. 応急措置

吸入した場合：被災者を速やかに空気の新鮮な場所に移す。症状が悪化したり継続する場合は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合：汚染した着衣、靴等を速やかに脱ぎ、付着部を多量の水と石けんでよく洗浄する。異常が現れた場合には、医師の診断を受ける。

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で数分間洗浄する。眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける。直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄し、コップ1~2杯の水を与える。意識がないときには口から何も与えてはならない。医師の診断を受ける。

### 5. 火災時の措置

消火時の注意：消火活動には適切な保護具(自給式空気呼吸器等)を着用し、風上から作業する。燃焼又は高温により有害なガスが発生するおそれがあるので、発生するガス、煙を吸い込まないように注意する。消火水が下水や河川等の水系に流れ込まないように適切な処置をとる。

適切な消火剤：粉末、泡沫、炭酸ガス、霧状水、水

使ってはならない消火剤：知見なし。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

付近の人を風上に避難させ、漏出現場への立ち入りを禁止する。適切な保護具(保護衣、保護眼鏡、保護マスク等)を着用して、眼や皮膚に触れたり、粉じんを吸い込んだりしないようにする。

環境に対する注意事項：

漏出物や洗浄水等が河川、下水等水系に流出し、環境への影響を与えないように措置する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

漏出物を土、砂、オガクズ等に吸収させて密封できる容器に回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い： 局所排気装置を設置し、換気のよい場所で行う。適切な保護具を着用し、粉じんを吸い込んだり、眼、皮膚に触れたりしないようにする。作業後は、すみやかに眼、手、顔を洗い、うがいをする。
- 保管： 容器を密封し換気のよい冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かない所に施錠して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度： 未設定
- 許容濃度： 日本産業衛生学会： 未設定  
ACGIH： 未設定
- 設備対策： 換気扇等の局所排気設備を設置し、速やかに換気ができるような処置をとる。取扱い場所の近くに、全身シャワー、手洗い、洗眼設備を設ける
- 保護具
- 呼吸用保護具： 防じんマスク
- 目の保護具： 保護眼鏡、ゴーグル
- 手の保護具： 保護手袋
- 皮膚及び身体の保護具： 長袖の保護衣

## 9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態： 細粒
- 色： 淡褐色
- 臭い： わずかに特異臭
- 融点/凝固点： データ無し。
- 沸点又は初留点及び沸点範囲： データ無し。
- 可燃性： 該当しない。
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界： データ無し。
- 引火点： データ無し。
- 自然発火点： データ無し。
- 分解温度： データ無し。
- pH： データ無し。
- 動粘性率： データ無し。
- 溶解度： データ無し。
- n-オクタノール/水分配係数： データ無し。
- 蒸気圧： データ無し。
- 密度及び/又は相対密度： 0.89
- 相対ガス密度： データ無し。
- 粒子特性： データ無し。
- 粘度： データ無し。

## 10. 安定性及び反応性

- 反応性： データ無し。
- 化学的安定性： 通常の取扱い条件では安定。
- 危険有害反応可能性： データ無し。

避けるべき条件：データ無し。  
 混触危険物：データ無し。  
 危険有害な分解生成物：データ無し。

## 1 1. 有害性情報

(シフルトリン)

急性毒性(経口)：LD<sub>50</sub> 500mg/kg ラット♂ 840mg/kg ラット♀  
 急性毒性(経皮)：LD<sub>50</sub> >5,000mg/kg ラット♂♀  
 急性吸入毒性：吸入(ミスト)：LC 50 1.01 mg/L ラット♂ 1.02 mg/L ラット♀  
 皮膚腐食性/刺激性：ウサギを用いた2件の試験において刺激性なし  
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：ウサギ 軽度刺激物  
 呼吸器感作性：製剤のデータ無し。  
 皮膚感作性：モルモット 陰性  
 生殖細胞変異原性：陰性  
 発がん性：ラットを用いた2年間の経口投与試験、マウスを用いた23ヶ月、18ヶ月間の経口投与試験において腫瘍の発生率の上昇は認められていない  
 生殖毒性：OECD-TG414に準拠した経口投与によるウサギを用いた発生毒性試験において、母獣に体重増加抑制が認められる投与量(60 and 180 mg/kg bw per day)においてより胚吸収が生じている

特定標的臓器・全身毒性 v

(単回暴露)：ラットに 0.405 mg/L/4h の吸入暴露で、舞踏アテナーゼ様の動作の持続、チアノーゼ、呼吸困難を伴う不規則呼吸、異常発声、閉眼状態での伏臥あるいは側臥が観察されている。

特定標的臓器・全身毒性

(反復暴露)：ガイダンスの区分 1 の用量で神経系への影響が見られる

吸入性呼吸器有害性：データなし

誤えん有害性：製剤のデータ無し。

## 1 2. 環境影響情報

(シフルトリン)

生体毒性

魚毒性：コイ LC<sub>50</sub>(96H) 0.004 µg/L  
 その他：オオミジンコ EC<sub>50</sub>(48H) 0.000061 µg/L

残留性/分解性：データなし

生物蓄積性：BCF 459

オゾン層への有害性：オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書の付属書に列記された規制物質を含まない。

## 1 3. 廃棄上の注意

法、条例等に従って安全に処理する。または産業廃棄物処理業者に委託し適切に処理する。  
 残薬及び洗浄液は、河川、下水等水系に流さないようにする。

## 1 4. 輸送上の注意

国連番号：3077  
 品名：環境有害物質(固体)  
 国連分類：9  
 容器等級：Ⅲ  
 海洋汚染物質：該当  
 緊急時応急措置指針番号：171

## 15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：毒物及び劇物に該当せず。

化審法：第一種特定化学物質 該当せず

第二種特定化学物質 該当せず

監視化学物質 該当せず

優先評価化学物質 該当せず

届出不要物質 該当せず

労働安全衛生法

通知対象物(法 57 条の 2、施行令第 18 条の 2)：シリカ(別表第 9 の 165 の 2)  
70.0%

## 16. その他の情報

引用文献

日本化学工業協会 GHS 対応ガイドライン、2012 年 6 月

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

JIS Z 7252：2019、GHS に基づく化学物質等の分類方法

JIS Z 7253：2019、GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

本データシートの記載内容は、この化学品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。